総理表敬に訪れたヘグセス米国防長官と、中谷防衛大臣を交え懇談

石破総理のベトナム、フィリピン歴訪に総理補佐官として随行

今年も大國魂神社くらやみ祭りに参加させていただきました

長島昭久 一年間を振り返る

2024年6月～2025年5月

自民党青年部と共に多摩市内で拉致被害者の即時一括帰国を訴える

セキュリティ・クリアランス法制について、高市早苗経済安全保障担当大臣（当時）に党の見解を説明

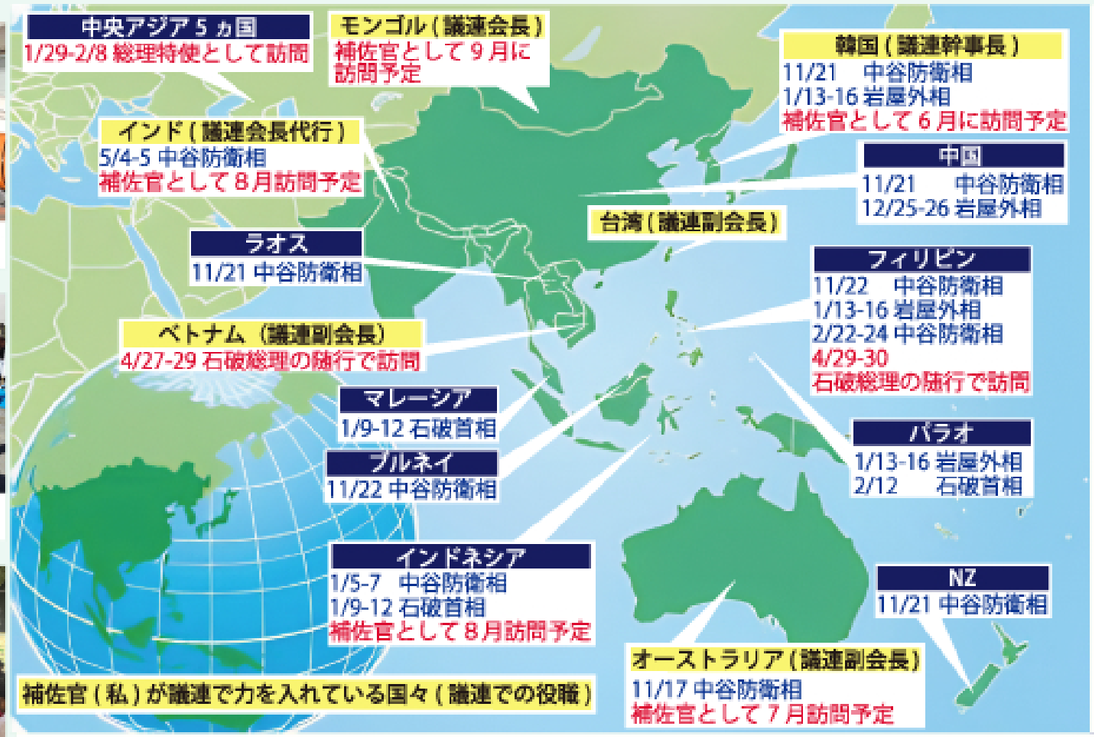
増山あすか都議候補の決起集会で、会場全体で「勝つぞコール」

総理補佐官として海上自衛隊横須賀基地を視察

稲城市防災訓練に、高橋市長と地元女性防火クラブの皆さまと

衆議院選挙の最終街頭演説会には、けやき並木に皆さまが集結

10月の厳しい衆議院選挙では、小林鷹之代議士に応援いただく



日本の未来を守るために―新たな外交・安全保障戦略の構想―

世界はいま、大きな地殻変動の只中にあります。トランプ政権の再登場で、戦後の国際秩序を支えてきた力のバランスが揺らぎ、かつてない不確実性が私たちの平和と繁栄を脅かしています。**ウクライナ戦争の終わらせ方を誤れば、それがインド太平洋地域の安全保障に暗い影を落としかねません。**

第一に、米中対立の激化です。中国による急速な軍拡と、その軍事力を背景とした南シナ海や東シナ海、台湾海峡などでの力や威圧による一方的な現状変更の試み。これにより、インド太平洋地域の安定は大きく揺らいでいます。

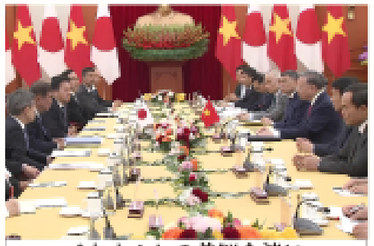
第二に、アメリカの政治が内向きになり、トランプ政権の再登場によって、自由で開かれたインド太平洋を守るという米国の意志が希薄化する懸念が強まっています。

第三に、その隙間を縫うように、中国が外交攻勢を強め、グローバル・サウスを中心とした諸国に影響力を拡大しています。台湾への統一圧力、北朝鮮とロシアの軍事連携の深化、韓国の内政不安など、地政学的リスクは複合化し、かつてない水準に達しています。

こうした現実に、日本はどう立ち向かうべきでしょうか。

これからの日本は、単なる「米国の同盟国」にとどまらず、「地域秩序の主柱」として、より積極的に国際社会の平和と安定と繁栄をつくり出す覚悟が必要です。そのことは、今年4月に石破総理と共に訪れたベトナム、フィリピンでも痛感しました。

両国指導者は、経済と安保の両面で日本のさらなるリーダーシップに大きな期待を表明しました。


ベトナムとの首脳会談に総理補佐官として同席

そのためには、米国の退潮を補い、地域秩序の維持を支える「**戦略的自律性**」を確立することが必要です。

戦略的自律は、地力をつけて（抑止力・対処力の強化）、仲間を増やす（同志国連携の拡大深化）ことによって実現されます。特に重要なのが・・・

- 豪州、インド、韓国、台湾、ASEAN諸国との安全保障協力の推進
- 経済連携とインフラ支援を通じた信頼と繁栄のネットワーク構築
- 中国による現状変更に対する域内同志国との抑止体制の能力強化
- グローバル・サウス諸国への包摂的な柔軟外交の展開

これらを柱に、日本独自の戦略的構想力を持って、地域の平和と安定、そして私たちの未来を守っていかねばなりません。

私たちはもはや、かつてのように「アメリカに任せておけばいい」時代には戻れません。今こそ日本が、自らの戦略で、自らの未来を切り拓くときです。

国民の皆さまのご理解を得つつ、この新たな国家戦略に基づき、積極的な行動で国際秩序の再編をリードしてまいります。

私は、その覚悟をもって、国家安全保障担当の内閣総理大臣補佐官の職責を全力で果たしてまいります。

昨夏で４回目を迎えた「台湾有事シミュレーション」で、米国チームを率いて日本政府と協議

夏の盆踊りでは、地域の皆さまの踊りの輪の中に飛び込みます！

ＴＶ出演を通じて、得意の安保政策を発信し続けます

稲城市百村の無形文化財「蛇より」をこいそ明都議と体験

こども政策は、「未来に誇れる日本」づくりの大切な柱の一つです

寒さにも負けず、暑さにも負けず、とことんコツコツ地元活動

多摩市熊野神社の例大祭にて、神輿会の皆さまと

東京30区支部大会は、党員党友の皆さまで大國魂神社の会場が満杯に

地元小学校の国会見学では質問攻めに！一つひとつ丁寧に回答します

総裁選直前の８月には、石破元幹事長（当時）と台湾を訪問し、賴清徳総統らと会談